

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上 透 磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-4345

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

3～5頁 京都司教区現勢報告

8頁 社会と共に歩む教会の事例

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601

救いの確信としてのミサ

安息日に、神の民イスラエルは過越しにおける神の救いの御業と人の命の恵みを感じ、創造の御業を記念し、過越祭を祝うごとに、その恵みの業を今ここに継続し、再現されていることを確認したのです。

主の日に、キリスト者はミサを捧げる度に、新しい過越しで

あり新しい創造である主の死と復活を記念し続けます。

主の最後の晩餐は、この新しい過越しを祝うものであり、ミサはこの祝いです。ここでの「祝い」や「記念」とは、たんに思い出を繰り返すことではなく、同じ出来事が今ここに現実のものとなされているということなのです。

ミサとは、ですから、あの最後の晩餐における、あの主の死と復

活の救いと恵みと神の命を与える同じ愛の出来事。神の命の言葉、主の命の糧、愛の交わりを通して、神の命、救いそのものを体験すること。

ミサにおいて三位の御神は私たちの「エンマニエル」(私たちがの中に住む神)となられます。それは人生の旅路における天国の美味わいと言えます。



司祭の召命のために祈りましょう

神学生の紹介

奥村豊神父

この度は京都教区に助祭・司祭候補者として鶴山神学生を迎えることができて心からうれしく思います。

鶴山神学生を一言で言うところ「祈りの人」ということになるでしょう。祈るということはキリスト者にとって欠くことのできないものであると同時に、司祭の道を歩んでいく者として必要不可欠な助けとなります。その意味で鶴山神学生は良い資質を持っていらっしゃるでしょう。

今後はいよいよ本格的な神学の勉強が始まるでしょうが、是非コンスタントな祈りのときを持たれることを望みます。またかけがえのない時をかけがえのない友と分かち合える喜びを十分に味わってください。ともに働ける日を待ち望みながら。

司祭候補者として

神学生 鶴山進栄

三月に司祭候補者の認定をいただきました。鶴山です。よろしくお願ひ致します。

さて初対面の方によく尋ねられる質問として「なぜ神学生になろうと思ったのですか？」ということがあげられます。直接のきっかけは五年前です。複数の知人や神父様から「司祭になりませんか？」と尋ねられました。当初は、すばらしい生き方だと思いました。でも私はふさわしくない、他のしか



るべき人がなかったらいい、と思っていた。しかし、このような問いが続くたびに呼びかけを、なんとなくですが感じました。次の年に教区のある神父様に召命黙想を指導していただく機会があり、召命を深めてみようと思い、二年前に教区からお許しをいただき、神学院へ入学いたしました。

理想の司祭像についてですが、第一に祈ることを大切にし、それを伝えていきたいと思っています。私自身は祈ることによって慰め力づけられた経験があります。「神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ、それは極めて良かった」(創一・31)。他人と比べたり、あるいは比較されたりして傷つくことの多い現代において、活路を見つけたことのできない人々にとって、一人ひとりを大切に思っている父なる神との出会いは、自分自身の見方を変えてくれるのだと思います。第二には学びのお手伝いができればいいと考えています。東京の神学院では神学生は土日を挟んで関東のさまざまな小教区にお邪魔して教会の現場に触れる経験があります。私もある小教区にお邪魔して侍者奉仕、日曜学校などを担当させていただいて

います。また信徒の方との会話のなかでも質問されることもありま。日曜学校、会話のやりとりのなかで思うことは分かりやすい言葉で説明すること、わからないことは「ごめんなさい、わかりません」と言うこと、そして調べて答えを次の機会に供えておくことが必要であると感じています。第三に信徒の皆さんが社会生活でキリスト者として生きるとはどのようなことかということと一緒に考えていきたいなと思っています。

私は神学院に入る前は普通に働いていました。働くことで神様のよい協力者となることができる、こんなことを時々考えながら仕事をしていました。社会人として、地域の人としてどう生きるかを一緒に考えたいな、と思っています。『神は司祭たちを、いやがうえにも彼らに影響を与えている具体的な人間や教会の現状の中からいつも呼び出します。そしてまた、キリストの福音に奉仕するため、その同じ状況のもとへ遣わすのです』(現代の司祭養成 n・3)

司祭になるまで、少なくとも後四年かかります。祈りとご指導によりご支援いただければ幸いです。今後ともよろしくお願ひ致します。

カトリック京都司教区現勢報告書 (2003年1月1日～12月31日)

I. 概 況

面積: 18,097.87km² (京都府、滋賀県、奈良県、三重県)
 人口: 7,314,195人
 信者総数: 19,198人
 求道者: 249人
 小教区: 54
 巡回教会: 3

II. 人員構成

司 教 日本人 2 外国人 0

司祭・修道士 () 内は助祭、修練者及び志願者数

		司 祭		修 道 士	
		日本人	外国人	日本人	外国人
宣 教 会	メリノール会	0	9		
	グワダルベ会	0	4		
	ザベリオ会	0	1		
	フィリピン会	0	3		
	ヴィアートル会	1	3	1	4
修 道 会	エスコラビオス会	0	3		
	カルメル会	4	1(1)	0(2)	0
	ドミニコ会	2	0		
	マリスタ会	1	6		
	レデンプートル会	4	2	1	0
	フランシスコ会	0	1		
	サレジオ会	2	0	2(2)	0
	イエズス会	1	2		
上記以外の所属の教区内居住司祭		0	3		
ブレラトゥーラ・ベルソナリス オブスディ		1	1		
合 計		33	41(1)	4(4)	4

神学生・哲学生

	日本人	外国人
教 区	1	0
修 道 会	0	0
合 計	1	0

在俗会

	日本人	外国人
聖母カテキスタ会	18	0

伝道師

	男	女	合計
信 徒	0	5	5
修 道 者	0	8	8

修道女

() 内は修練者及び志願者数

	日本人	外国人
イエスの小さい姉妹の友愛会	5	0
ウイタタの聖ヨゼフ修道会	26(1)	3
ジョファエの幼きイエズス修道会	15	0
カルメル修道会	18	0
カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	10	1
聖母訪問会	16	0
聖ヴィンセンシオの愛徳姉妹会	3	0
ヌヴェール愛徳修道会	31	0
ノートルダム教育修道女会	63	4
メリノール女子修道会	2	5
聖ドミニコ女子修道会	8	0
聖ドミニコ宣教師女会	6	0
隣保聖体修道会	0	4
無原罪の聖母フランシスコ姉妹会	0	5
カルメル宣教師修道女会	0(1)	5
聖ウルスラ修道会	1	1
善きサマリア人修道会	5	0
聖心のウルスラ宣教師女修道会	7	2
マリアの娘エスコラビアス修道女会	2	2
合 計	218(2)	30

III. 施 設

() 内は信徒数

保 育 園	6	園 児 数	864(10)
年 間 延 べ 人 数			
社会福祉施設	4	宿泊を伴う利用者数	11,241(1)
		宿泊を伴わない利用者数	51,840(0)
老人ホーム	8	宿泊を伴う利用者数	509(128)
		宿泊を伴わない利用者数	6,390(91)
老人ホーム以外の 老人福祉事業	28	宿泊を伴う利用者数	56,769(443)
		宿泊を伴わない利用者数	136(35)
その他の 社会福祉事業	5	宿泊を伴う利用者数	4,536(1,750)
		宿泊を伴わない利用者数	

教 育 施 設	幼 稚 園	23	男 子	1,730(33)
			女 子	1,969(33)
	小 学 校	2	男 子	788(24)
			女 子	1,174(29)
	中 学 校	6	男 子	894(23)
			女 子	1,710(22)
	高 等 学 校	9	男 子	1,706(24)
			女 子	2,532(33)
	短 期 大 学	1	女 子	846(14)
	大 学	1	男 子	2(0)
		女 子	1,573(24)	
養 護 学 校	2	男 子	70(0)	
		女 子	49(0)	

一 般 施 設	センター・会館	11	宿泊を伴う利用者数	431(338)
			宿泊を伴わない利用者数	27,929(11,028)
	学 生 寮	1	利 用 者 数	20(1)
	社 会 人 寮	1	利 用 者 数	4(0)
	黙想の家・研修所	3	宿泊を伴う利用者数	5,290(3,183)
			宿泊を伴わない利用者数	7,917(2,785)
	そ の 他 施 設	3	宿泊を伴わない利用者数	14,907(10,425)

IV. 小教区概況

教会名	信徒数		ミサ参加			求道者	洗礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	総数(2002)	日曜日	復活祭	クリスマス	幼児		成人	信						未	
A. 京都府南部															
東ブロック															
1.河原町	1,874	1,771	800	1,900	2,300	43	4	35	33	21	31	90	17	64	99
2.北白川	378	360	120	160	200	38	9	9	16	6	12	4	2	20	5
3.高野	460	466	100	183	198	10	1	3	3	1	7	1	3	13	1
4.山科	339	349	100	140	340	8	1	0	2	1	5	11	5	32	12
小計	3,051	2,946	1,120	2,383	3,038	99	15	47	54	29	55	106	27	129	117
北ブロック															
5.衣笠	558	569	180	310	420	2	1	0	5	1	6	9	2	39	322
6.宇津	25	15	10	10	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.山国	20	20	11	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.小山	153	177	25	70	70	1	1	0	0	0	1	6	1	5	3
9.西陣	136	129	50	90	110	1	0	0	0	4	8	22	4	10	0
10.西院	541	554	210	360	490	7	13	3	9	5	1	8	0	10	6
小計	1,433	1,464	486	846	1,114	11	15	3	14	10	16	45	7	64	331
西ブロック															
11.桂	544	557	70	150	180	4	0	2	1	1	6	5	4	14	16
12.九条	200	200	60	120	150	0	0	3	3	2	1	0	2	16	2
13.長岡	302	310	70	162	145	0	2	2	1	0	2	7	3	17	3
14.丹波	316	311	60	120	150	4	3	0	0	3	8	5	0	19	9
小計	1,362	1,378	260	552	625	8	5	7	5	6	17	17	9	66	30
南ブロックA															
15.伏見	486	470	130	350	430	6	7	5	12	4	37	31	2	21	4
16.桃山	506	505	75	97	105	7	0	2	3	2	9	12	4	8	0
17.八幡	173	174	40	80	80	0	0	0	3	0	0	0	1	3	0
小計	1,165	1,149	245	527	615	13	7	7	18	6	46	43	7	32	4
南ブロックB															
18.宇治	566	559	150	250	260	10	2	14	3	2	2	3	8	15	0
19.青谷	192	194	40	90	120	0	0	1	0	1	0	2	1	14	0
20.田辺	373	372	80	180	230	1	0	1	0	3	3	4	0	5	0
21.精華	168	173	65	170	220	2	0	0	0	0	3	2	6	12	0
小計	1,299	1,298	335	690	830	13	2	16	3	6	8	11	15	46	0
B. 京都府北部															
舞鶴ブロック															
22.綾部	69	65	35	80	45	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0
23.福知山	71	71	20	40	45	0	1	2	2	0	4	4	1	8	2
24.報恩寺	276	280	25	55	105	0	2	1	1	0	0	5	2	0	0
25.西舞鶴	318	314	70	120	140	3	5	5	4	2	1	3	4	36	8
26.東舞鶴	246	240	60	80	120	0	4	0	0	1	5	2	1	11	0
小計	980	970	210	375	455	4	15	9	7	3	10	14	8	55	10
宮津ブロック															
27.宮津	307	306	60	110	120	1	3	2	2	2	3	6	1	12	21
28.岩滝	167	169	40	50	60	0	1	1	0	1	1	0	5	6	0
29.加悦	118	122	50	70	130	2	0	1	0	0	0	0	5	15	0
30.網野	147	145	40	60	60	0	1	3	1	1	1	0	3	19	0
31.丹後大宮	135	136	40	80	60	0	0	1	1	0	0	0	2	5	0
32.峰山	109	112	30	40	60	1	0	0	0	0	0	0	3	6	0
小計	983	990	260	410	490	4	5	8	4	4	5	6	19	63	21
合計	10,273	10,195	2,916	5,783	7,167	152	64	97	105	64	157	242	92	455	513

IV. 小教区概況

教会名	信徒数		ミサ参加			求道者	洗礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	総数	(2002)	日曜日	復活祭	クリスマス		幼児	成人						信	未
C. 滋賀県															
湖西ブロック															
33.大津	562	551	140	230	280	6	5	4	3	3	22	16	4	48	26
34.唐崎	278	280	71	166	192	4	0	3	1	0	8	10	3	42	7
35.安曇川	86	87	20	31	29	1	0	0	3	0	0	1	0	4	0
小計	926	918	231	427	501	11	5	7	7	3	30	27	7	94	33
湖東ブロック															
36.草津	861	813	224	537	682	3	28	19	44	6	12	7	2	46	0
37.甲賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38.彦根	215	214	77	210	190	5	20	9	3	1	5	3	0	23	1
39.長浜	91	92	30	95	149	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0
小計	1,167	1,119	331	842	1,021	11	49	28	47	7	17	10	3	69	1
合計	2,093	2,037	562	1,269	1,522	22	54	35	54	10	47	37	10	163	34
D. 奈良県															
北部ブロック															
40.富雄	325	321	90	200	260	4	2	6	5	1	8	5	2	23	0
41.登美ヶ丘	440	460	130	300	350	1	4	6	19	1	6	26	1	7	133
42.奈良	1,014	1,014	300	400	650	13	6	9	17	3	16	10	6	40	6
43.大和郡山	417	415	90	200	190	6	5	7	7	2	3	24	4	21	1
小計	2,196	2,210	610	1,100	1,450	24	17	28	48	7	33	65	13	91	140
南部ブロック															
44.御所	147	152	40	80	100	2	0	2	2	0	0	1	6	0	0
45.大和高田	447	439	90	230	300	8	0	2	3	0	7	0	1	17	56
46.西大和	280	281	60	150	200	2	1	2	5	0	1	4	3	16	0
47.大和八木	304	300	70	100	110	4	5	0	4	2	5	1	0	21	1
小計	1,178	1,172	260	560	710	16	6	6	14	2	13	6	10	54	57
合計	3,374	3,382	870	1,660	2,160	40	23	34	62	9	46	71	23	145	197
E. 三重県															
北勢ブロック															
48.桑名	282	288	80	150	200	0	0	3	3	0	7	1	2	13	2
49.鈴鹿	263	268	50	70	90	4	14	3	0	2	10	4	0	2	0
50.亀山	40	54	10	15	15	0	12	1	0	0	0	1	1	0	0
51.四日市	787	778	310	657	511	4	48	15	26	7	9	6	6	30	4
小計	1,372	1,388	450	892	816	8	74	22	29	9	26	12	9	45	6
中勢ブロック															
52.津	458	452	150	220	280	9	9	10	10	4	6	11	8	22	5
53.久居	178	177	45	90	110	2	3	1	1	0	3	2	1	6	1
54.上野	201	196	100	120	150	8	7	6	0	0	3	4	3	32	0
55.名張	236	159	60	80	90	2	0	1	0	0	1	5	0	13	0
小計	1,073	984	355	510	630	21	19	18	11	4	13	22	12	73	6
南勢ブロック															
56.伊勢	358	367	78	186	178	3	0	0	0	0	3	7	8	14	10
57.松阪	288	265	75	200	300	3	4	16	0	0	3	0	9	5	0
小計	646	632	153	386	478	6	4	16	0	0	6	7	17	19	10
合計	3,091	3,004	958	1,788	1,924	35	97	56	40	13	45	41	38	137	22
総計	18,831	18,618	5,306	10,500	12,773	249	238	222	261	96	295	391	163	900	766
	総数	(2002)	日曜日	復活祭	クリスマス	求道者	幼児	成人	堅信	結婚	転入	転出	死亡	信	未
	信徒数		ミサ参加				洗礼	礼						教会学校	

*甲賀教会の数字は草津教会に含まれている。

2004年2月20日
カトリック京都司教区
本部事務局

福音センター養成コース案内



福音センターニュース

祈りコース I

— イエスから学ぶ —
かかわりに光を

祈りは魂の呼吸で、祈りはかかわりです。

神に向かってなされる神との意識的なコミュニケーションです。私が意識しようとしまいと神は私よりも身近におられ、そのまま(素顔)の私とかかわることを望んでおられるのです。

いのちを回復し、よりその人らしく生きられるように。喜びにつけ、悲しみにつけ、特につらいことに会おうとき、どう祈るのか、ともにいること、意識することなど学び体験します。琵琶湖畔での2泊3日の経験が、生き方にうるおいと希望をもたらしてくれるでしょう。

- 日 時 '04年5月7日(金) 午後4時～9日(日) 午後3時半
指 導 アントニー・ブロードニアク師(メリノール宣教会)
福音センター(シスター安井昌子、シスター中山真里)
会 場 唐崎ノートルダム修道院(大津市唐崎1-3-1)
JR湖西線(京都駅から15分) 唐崎駅下車
申 込 締め切り 4月27日(火) まで

病人訪問 コース I

— いのちをもたらすかかわりを求めて —

病気の人、死の床にある人、閉じこもったままの人などを訪ねたり、大きい苦しみの中にある人と共にいるのは易しいことではありません。何をし、何を語ったらよいのでしょうか。

困難の中で人が求める援助とは何か、どうかかわるのか、訪問にあたっての心得とは、等について今回も沼野尚美氏の講話に耳を傾けます。

沼野氏は悩める方、死の床にある方と向き合い、希望とやすらぎをもたらす援助を続けておられます。さらに、かかわりに必須の「聴く」実習を交えて学びます。

介護にかかわる方、奉仕(聖体奉仕者)を心掛ける方などのご参加をお待ちしています。

- 日 時 '04年5月28日(金) 午後4時～30日(日) 午後3時
指 導 沼野尚美氏、福音センタースタッフ
会 場 宝塚 黙想の家(阪急宝塚線 売布駅 下車5分)
申 込 締め切り 5月18日(火) まで

問い合わせ・申込先

郵便番号・住所・氏名・参加コース名をご記入の上、参加費 20,000円(各コース)を郵便振替口座(00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース)へお振込み下さい。

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター

Tel 075-822-7123 Fax 075-822-7020 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

私の福音宣響

シリーズ (2)

児童買春、児童虐待など子供たちをめぐる社会は厳しさをましている。その中で子供たちにしっかりと「いのち」を伝えることは、今何よりの「あかし」といえる。

稲垣 純代
(加悦教会)



「わたしは今とてもあこがれている職業があります。それは、小さな命にかかわる仕事です。」これは小学6年生の長女が書いた作文の冒頭です。小さな命を育みたい、そしてそれを見守るようになりたいという長女の夢の背後には、末の娘をめぐる出産・成長のドラマがありました。それは家族の大きな宝物として今もわたしたちの中で生きています。

◆ 超未熟児の出産 ◆

我が家では、この6年生の長女を頭に3人の娘を授かりました。それぞれの娘の出産・成長にはそれぞれのドラマがあります。けれど今2歳になった末娘の出産と成長には特別の重みがありました。この子は755gという超未熟児でこの世に生まれました。帝王切開でした。その時の様子を、先の長女の作文はこう続けています。「わたしは妹が生まれることを楽しみにしていました。だから突然お母さんが救急車で運ばれ、妹を帝王切開で産まなければならなかったことが信じられませんでした。(…)妹が何とか落ち着くまでは、家族みんなが不安な毎日を送りました。ガラスごしでしたが、妹に初めて会ったときは、『本当に小さいー』と思いました。そして同時に『早く大きくなってほしい』と心から願いました。」

わたしにとってもこの時は、藁にもすがる気持ちで神様に必死でしがみついた時でした。どれほど医師から丁寧に説明されても、800g足らずの我が子を自分のお腹から出すという現実が恐ろしく、不安と情けなさなど言葉にならない動揺があ

りました。けれど、「オギャー」と泣き生まれ、保育器の中で一生懸命手足を動かしている我が子の姿にどれほど勇気づけられたことでしょう。

◆ いのちを伝える者となるように ◆

家族が、友人がそして医師や看護師さんがこの小さい命を見守り、祈り、育ててくれました。わたしの知らない方までもあつひ祈りを捧げてくださいました。けれどわたし達夫婦にとって何よりも嬉しかったことは、上の二人の娘たちがこの出来事に共にかかわり、そこからのいのちの尊さをしっかりと心に刻んでくれたことでした。二人は妹のために毎日ロザリオの祈りを捧げてくれました。そして二人はこの小さな命をめぐる大人たちの戦いの中に、人々の優しさをしっかりと受け止めました。長女の作文は次のように結ばれています。「わたしも妹を助けてくれた先生や看護師さんのように小さいいのちを助けたり大切にできるような生き方がしたいのです。」次女はお祈りがより身近になったようです。プールに飛び込むときや、暗くて怖い所を歩く時など、神様に祈るそうです。確かにあれ以来、「祈り」という言葉が家族の会話の中にたくさん登場するようになりました。

出口のない真っ暗なトンネルに入っていくようなつらい時期もありました。しかしそれをはるかに越える家族の絆を通して、娘たちはこれから周りの人々にいのちを伝えていってくれることでしょう。わたしの福音宣教は「愛は家庭から」。さあ、今日も……。

社会と共に歩む教会の事例

心の病の電話相談

津教会

今日の混乱に満ちた社会情勢の中で、ますます心の病が広がり、また、その人達と関わる家族も同時に心痛み苦しんでいます。CMC(クリスチャンメンタルケアセンター)は、「心病む人々の友となろう」という活動の目標を掲げて、一九九一年に東京と横浜で発足しました。その十年後の二〇〇一年九月に三重CMCが開設されました。日本基督教団の牧師様が中心になって準備されました。まだ全国で三カ所です。CMCは超教派のクリスチャンボランティアの運動体で、メンバーは全員クリスチャンであるということです。CMCは、完全に治癒しない病に苦しみ、不安と孤独の中で毎日を過ごしているユウザーが、安心して心の内を吐露できる場所として大きな役目を持っていると思います。そのためにボランティアの養成、個人の学びの研修が必要となり、公開講座を行っています。ネリグ神父様は、その活動が大切と積極的に関わっておられ、公開

講座の会場に研宗館の使用を許可してくださいました。津教会の支援に感謝しています。

電話を受ける人をクリスチャンメンタルフレンド(CMF)といいますが、CMFは「キリストに仕えキリストの働きに参与させていただく」という方針でユウザーからのお電話を受けています。CMFは、ドクターでもカウンセラーでもなく、電話の向こうの人の言葉に「傾聴」する「友」です。見えない神に信頼をもって共に生きることの大切さと、慈しみ深い神の限りない愛が一人ひとりの上に注がれていることを信仰をもって受け止め、心病んで苦しんでいる人と共に生きる道が開かれることを願っています。

CMCの働きが神様の御旨にかなったものとなり、永く続けられますように皆様のご支援とお祈りをお願いいたします。

相談専用電話

059(213)6707

相談日時 毎週月曜日と木曜日

午前10時〜午後4時

事務局 津市下井財町津興

一六二七

阿漕教会内 三重CMC事務局

(服部征子)

社会と共に歩む教会の事例

障害を持った仲間とともに

名張教会

一九九二年、大和八木駅近くのアパートを借りて知的障害を持った仲間三人と友人五人で内職仕事を始めました。当時は「福祉」という言葉も「補助金」という制度も何もわからないまま「集える場」を作ったようなものでした。

三畳と六畳のアパートは一度座ると、身動きがとれないほど狭かったのですが、地域の人々が訪ねて来てくれたり、隣の部屋の韓国人のおばあさんがおやつを持って来てくれたり、ベルー人の子供達が遊びにやって来て、途絶えることのない人の輪がありました。障害を持った仲間も三人から四人、五人、六人と増えて行きました。小さなアパートはパンク寸前、橿原市内の空き家を探し回りました。

それから、今日に至るまでの十年間に私達は四度の引っ越しをしました。「立ち退き」を言い渡されるたびに、増えていく大家族を受け入れてくれる場所をみつけることは言葉で表せないほど困難な道のりでした。盗難事件や地域で

不審火がおこると、近隣のマンションの住人が警察官を連れて来て、「この子に間違いない」と言いさる。土地が見つかったも隣地の持ち主の同意が求められない。住民集会に呼ばれると「この町には来て欲しくない」と代表者の人から告げられる。四度目の立ち退きを言い渡された時には、真っ暗な長いトンネルに入り、出口が見つからなくなりました。

忙しくてほとんど教会に行けなかったのですが、久しぶりに出かけた名張教会で、「神に全伏」という言葉を耳にして、胸が熱くなりました。全てを待ち望むと心に決めた瞬間、重たい荷物をおろしたような気持ちになりました。

それから二週間ほど経ったころ、現在の施設の建っている土地を提供しようという人が現れ、地域の人々の賛同もスムーズに得られ、多くの人のご支援をいただき、総工費三億円の鉄骨二階建てのすばらしい授産施設が出来上がりました。現在、障害をもった仲間が三十人、スタッフ十五人。ヒル神父様はじめ、八木教会の信者の皆様か週二日定期的にボランティアで力強く支えてくださっています。

(吉田壽子)

京都司教区宣教科司牧評議会規約

これまでの教区カトリック協議会は、四月から教区宣教科司牧評議会に変わります。(本年二月号二ページ参照)そこで、その規約全文を掲載します。

(名称)

第1条 この会は、「カトリック京都司教区宣教科司牧評議会」と称する。

2 略称として、「教区評議会」を用いる。

(設立)

第2条 「教区評議会」は、京都教区全体が一つになって福音宣教を推進するための機関として一九九八年三月十四日に設立された「教区カトリック協議会」を継承して、京都司教区が推進する共同宣教科司牧の精神と活動に適合するために、カトリック教会法五一条から五一条四に規定される『司牧評議会』に準じて、設立される。

2 「教区評議会」の規約は、前項で示された教会法が規定する『司牧評議会』の諸規定に基づいて、以下に定められる。

(目的)

第3条 「教区評議会」は、

教区司教の権威のもとに、地区協議会、および共同宣教科司牧ブロックと連携し、教区における宣教科司牧活動に関する事柄を研究・検討し、それについての実際的な結論を提示することをその目的とする。

(参照 五一一条)

(任務)

第4条 「教区評議会」は、教区司教が諮問する事柄について答申すると共に、積極的に教区全体で取り組むべき事柄について議案を提出する。

2 「教区評議会」は、評議された事柄の中で、必要ならば司教から委託された事柄を執行する。

(構成)

第5条 教区司教が招集し、主宰する「教区評議会」は、次の者によって構成される。

1. 司教総代理
2. 司教区本部事務局長
3. 各地区の共同宣教科司牧担当司祭から一名
4. 共同宣教科司牧ブロックから信徒代表一名。この者の任期は二年を限度とし、再任はできない。
5. 司教が招集する教区の委員

会・諸活動団体等の代表者

(会議の開催)

第6条 「教区評議会」の定例会議は年二回とし、原則四月と十月とに開催する。

2 教区司教は、必要に応じて臨時に会議を開催する。

(会議の議長)

第7条 「教区評議会」の会議の議長を司る議長は、司教総代理が務める。ただし、その者が欠席の場合には、その場で司教が指名した者がその任に当たる。

(議案の確定)

第8条 定例会議・臨時会議の議案は、司教からの諮問する事柄以外は、次のように確定される。

1. 各地区協議会、または共同宣教科司牧ブロック会議が議案を提出する場合は、議案は文書によって、会議開催二十日前までに、書記局宛に提出する。
2. 教区の各委員会、および教区の諸活動団体は、議案を文書によって、会議開催二十日前までに、教区本部事務局長宛に提出する。
3. 教区司教は、提出された議案を確定する。

(議決方法)

第9条 「教区評議会」で、教区司教が議決を求めた場合は、会議参加者の多数決によって決議を行う。

(書記局)

第10条 「教区評議会」は、その書記局を司教区本部事務局内に置き、書記局の責任者は、司教区本部事務局長とする。

2 書記局は、会議開催に必要な準備、会議の議事録の作成と送付、及び関係資料の保管を行う。

3 書記局員は、「教区評議会」に招集される者以外から若干名の信徒を、教区司教が任期を定めて委嘱する。

(会議の議事録)

第11条 書記局員が作成した会議の議事録は、議長が照合し、教区司教が承認したものを正式文書とする。

(規約の承認と改正)

第12条 本規約は、教区司教が承認し、発効する。

2 本規約の改正は、教区司教が「教区評議会」に諮問した後、教区司教が改正した規約を承認し、発効する。

(付則)

第1条 本規約は、二〇〇四年四月一日に発効する。

カトリック聴覚障害者の会京都グループのご紹介

京都の聴覚障害者が教会に来るようになったのは、昭和二十四年頃にアメリカより来日されたヘスラー神父が聴覚障害者と親しくかわってくださったことに始まります。要理にはたくさん聴覚障害者が集まってきたそうです。翌年後任として来日されたホワイト神父は手話がたいへんお上手で、クリスマスには百人以上の聴覚障害者が来られました。けれどもホワイト神父も離日され、聴覚障害者はだんだん少なくなり、それでも信仰の灯を消すまいと残ったメンバーで時折集まっていた。昭和五十八年十月八日、京都に全国から聴覚障害者と手話ボランティアなど百人を超える方々が集まり、田中司教司式によるミサを行い、ともに祈り、分かち合いをしました。この集まりが、全国カトリック聴覚障害者の会創立のきっかけとなり、教会の聴覚障害者の活動に活気が



みなぎってきました。また手話でされる司祭・修道者の方が出てきたことはこの上もない喜びでした。京都教区では柳本・森田神父が神学生の頃から手話を始められ、時々手話ミサを捧げていただいており、それが京都グループの活動の源となっており、す。けれども普段、聴覚障害者が所属する教会では、手話通訳者が足りない、あるいは全く居ないという問題に直面しています。このことを多くの方々に認識していただき、「私でもできますか。」と名乗り出ていただけたら、こんな嬉しいことはありません。

現在、河原町カトリック会館で年数回の手話ミサと月一回の手話教室を行っています。手話が出来なくても関心のある方はぜひご参加ください。会員十五名ほどの小さなグループですが、今後ともよろしく願っています。

(河原町教会・阿野恵子)

聖書講座シリーズ21

ルカ福音書を読む ー同伴者イエスー

時間・水曜夜コース 午後7時半～9時 主催・京都教区聖書委員会(電話075-211-3484 FAX075-211-3910)
木曜昼コース 午前10時～正午 締切・4月30日(金)
場所・カトリック河原町教会地下ホール 申込・河原町カトリック会館内「聖書委員会」
費用・6,000円、申込後郵便振替口座00910-9-148401「京都教区聖書委員会」に振込み下さい。

第1回	5月12・13日	導入(イエスの旅に慕い歩く)		村上透磨
第2回	5月19・20日	第一の序唱(ナザレのイエス)	1:1～2:52	新井延和
第3回	5月26・27日	第二の序唱(公生活の開始)	3:1～4:13	一場修
第4回	6月2・3日	弟子を招く	4:14～6:16	幸田和生
第5回	6月9・10日	平地の説教	6:17～49	諏訪栄治郎
第6回	6月16・17日	広がって行く福音	7:1～8:3	奥村豊
第7回	6月23・24日	弟子たちを訓育する	8:4～9:6	西経一
第8回	6月30・7月1日	イエスとは誰か(弟子とは誰か)	9:7～50	沼野尚美
第9回	7月7・8日	サマリアを通りエルサレムへ	9:51～10:37	昌川信雄
第10回	7月14・15日	イエスと共にあること	10:38～11:36	鳥巢義文
第11回	7月21・22日	ファリサイ派の人々のようにではなく	10:37～12:34	大塚喜直
第12回	7月28・29日	目覚めて備えよ	12:35～13:21	北村善朗
第13回	9月1・2日	狭い戸口から	13:22～14:36	中川博道
第14回	9月8・9日	憐れみと富	15:1～17:10	小久保喜以子
第15回	9月15・16日	神の国の逆説	17:11～18:34	高山貞美
第16回	9月29・30日	エルサレムへ	18:35～19:46	国井健宏
第17回	10月6・7日	エルサレムでの最後の日々	19:47～21:36	金纓子
第18回	10月13・14日	最後の日々(過越しの日)	21:37～22:38	伊従信子
第19回	10月20・21日	受難・死	22:39～23:57	菊地功一
第20回	10月27・28日	復活・昇天・新しい共同体の誕生	24:1～使行1章	鈴木信一

お知らせ

青年センターから

◆世界青年の日の集い4日(日)
14時 河原町教会地下ホール

教区委員会から

◆聖書委員会◆聖書深読17日(土)
10時 新井延和師 河原町会館六階
費用二千五百円(昼食代を含む)
持参品 聖書・筆記用具・ノート
(お申し込みは三日前までに)
◆典礼委員会◆教会の祈りと聖体
賛美式・主日のミサ 第一日曜日
17時半 河原町教会

地区協議会から

◆滋賀カトリック協議会◆例会18日(日) 草津教会
◆正義と平和奈良協議会◆25日(日) 14時 富雄教会 環境問題
(その9)「遺伝子組み換え食品」
発題者 西野猛生師
◆三重カトリック協議会◆ウオー
カソン三重29日(祝) 10時出発
桑名市内

ブロック・小教区から

◆九条教会◆4日(日) ミサ中、
ダフィー師の追悼

◆京都コリアンカトリックセンター
◆韓国カトリックの聖地を巡る旅
19日(月)〜22日(木)

修道会から

◆宇治カルメル会◆聖書深読黙想
会24日(土)〜25日(日) 新井延
和師◆一般のための黙想14日(水)
10時〜16時「復活」新井延和師
◆京都女子カルメル会修道院◆25
日(日) 13時半 講演「信仰に生
きる―三位一体のエルザベツト―」
講師 伊従信子氏 15時ミサ 北
村善朗師
◆聖ドミニコ女子修道院◆みこと
ばを聴こう5月22日(土)「聖霊」
講師 北村善朗師 会費五百円◆
申込み電話075(231)20
17 St 庄子

教育関係施設から

◆ノートルダム女学院中学高等学
校◆中学校入学式7日
◆聖母教育文化センター◆4月開
講 聖書講座 月曜日(原則月二
回)、聖書講座 毎週金曜日 以
上いずれも講師 St 安藤慶子 場
所 聖母教育文化センター教室◆
4月開講 聖書講座 火曜日 14
時半 講師 St 眞隅貞子 場所
聖母女学院香里セミナーハウス◆

ベルナデッタ列聖70周年記念巡礼
旅行8月2日〜12日◆問合せ07
5(643)2320

諸施設・諸活動から

◆JOC◆働いている青年の集い
◆集合場所 京都働く人の家(九
条教会前)、滋賀働く人の家(大
津教会裏)。連絡先090(82
07)1831
◆おてんとさんの会◆植物園花
見9日(金) 11時西院教会集合
◆京都カトリック混声合唱団◆練
習日11日(日) 14時、24日(土)
19時、いずれも河原町会館六階
◆京都カナの会◆結婚相談室・例
会4日(日) 13時半河原町会館
◆京都キリシタン研究会◆定例会
25日(日) 14時 河原町会館六階
◆コロチェレステ◆第一、第四、
第五木曜日 河原町会館六階
◆在世フランシスコ会◆京都兄弟
会集会17日(土) 13時半 フラン
シスコの家
◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ
会◆河原町協議会4日(日)◆京
都中央理事会25日(日)
◆カトリック聴覚障害者の会京都
グループ◆手話ミサと例会23日
(金) 11時 河原町会館六階◆手
話教室 毎月第二木曜日13時 河

原町会館六階

◆二金会◆9日(金) 西陣教会

◆鎌みその会◆例会29日(祝) 19
時45分 九条教会

◆レジオ・マリエ◆18日(日) 13
時半 河原町会館六階

◆心のともしび4月番組案内◆
テレビ主な放送内容

◆年間シリーズの放送予定◆

◆今年小林敬三師(東京教区・
西千葉教会主任神父)のお話で、
最初の放送は4月11日です。どう
ぞお楽しみに。(著書に「セーヌ
川のだるま船」)◆ラジオテーマ
「願い」◆問合せ075(211)
9341

◆「一万匹の蟻運動」基金報告
累計四〇、一〇〇、九二八円
(二月十六日現在)

◆編集部から

◆お詫びと訂正 三二六号(3月
号)◆4ページ「福音センターニ
ュー」結婚講座(第23回) 7月10、
14、17日は、7月10、17、24日の
間違いでした。また、病人訪問コ
ースII 5月18、19日は、9月18、19
日の間違いでした。◆8ページ
「大塚司教の3月のスケジュール」
11日(木)は間違いでした。

大塚司教の

4月のスケジュール

1日 (木)	中央協常任司教委員会 10時
2日 (金)	京都ノートルダム女子 大学入學式10時
3日 (土)	司教の京都北部地区集 会(舞鶴) 14時
4日 (日)	教区青年の日・カテキ ズム集会14時
8日 (木)	聖木曜日・主の晩餐 (河原町) 19時
9日 (金)	聖金曜日・主の受難 (河原町) 19時
10日 (土)	聖土曜日・復活徹夜祭 (河原町) 19時
11日 (日)	主の復活司教ミサ(河 原町) 10時半
13日 (火)	16日 (金) 神学校同 窓会
21日 (水)	東京カトリック神学院 常任司教委員会9時 教区評議会書記局会議 18時
22日 (木)	司教顧問会・責任役員 会10時
24日 (土)	教区評議会14時
25日 (日)	三重北勢ブロック司教 訪問(鈴鹿教会)

27日 (火) 大阪京都合同司教顧問

会議(京都) 15時



◎今、宇宙船地球号では、闘争、飢餓、貧困、狂騒、浪費の方が、平和、博愛、献身、省エネより大きいように見える。このままでは人の住めない星になってしまうのでは？

人類の未来は、一人一人の行動にかかっていると思う。神様任せはいけないと思う。(EH)

◎明るいという字をみつめていると、日と月が抱き合っている。

二つの光が暗い世を包むと明る

い日が生まれる。君に明日あれ。(MT)

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、5月号でしたら4月1日までに、6月号でしたら5月1日までに、京都司教区本部事務局内「京都教区時報」宛 FAX 075 (211) 4345 か、またはEメール henshu@kyoto.catholic.jp にお願ひします。

第3回世界青年の日の集い開催 実行委員 鈴木和人

二〇〇四年四月四日(日) 枝の主日に、京都教区では三回目の「世界青年の日の集い」が開催されます。世界青年の日とは教皇様が記念日として定めたものです。世界中の青年に「若者が、司教司祭たちとともに、地上の光であるキリストに目を向け、呼び求め、世界に告げ知らせよう」と呼びかけ、その集いが毎年開かれています。世界青年の日は、二〇〇四年に十九回目を迎え「私たちはイエスに会うことを望みます」というテーマで呼びかけています。そこで、京都教区でもその呼びかけに賛同し、集まりを持とうということで青年が動きまわりました。

昨年引き続き、大塚司教を交えて河原町教会の地下ホールでミサと分かち合いを行います。各教会にポスターが配られていますが、テーマは「聖体ってなんだ!」。対象は高校生以上、参加費は五百円。準備の関係で申し込みが必要です。申込み締切りは三月二十六日(金)です。青年たちのミーティングの際に「青年っていつまで?」という問いが投げかけられましたが、それは自分が判断すればよいそうです。つまり「私は青年です。」と言いつける限り、いつまでも青年なのです。

教皇様は、青年たちに一番大切なのは聖書朗読だと言っておられました。青年の皆さん、「世界青年の日」に集い、手作りのミサをして、一緒に聖書を読みましょう。

お申込は、郵便・FAX・ホームページ・メールで受け付けています。氏名・〒番号・住所・電話番号・メールアドレス・所属教会をご記入の上、ご連絡下さい。

〒六〇四一八五五

京都市中京区壬生淵田町二六

京都カトリック青年センター

FAX 075 (812) 6685

TEL 075 (822) 6246

E-MAIL

seinen@kyoto.catholic.jp

URL

<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

青年センターあんでな

に「青年っていつまで?」とい